

原子力システム研究開発事業
(安全基盤技術)
中間評価総合所見

評価の概要			
研究課題名： ナトリウム冷却高速炉における格納容器破損防止対策の有効性評価技術の開発			
研究代表者（研究機関名）： 宇埜 正美（福井大学）			
再委託先研究責任者（研究機関名）： 浜田 広次（日本原力研究開発機構）			
研究期間：平成25年度～平成28年度（4年計画）			
項目	要 約		
1. 研究の概要	既存のナトリウム冷却高速増殖炉を含めた革新的原子力システムの安全性向上に資するため、ナトリウム冷却高速増殖炉特有の重大事故現象や固有の安全性に関する事項を考慮しつつ、格納容器の破損防止対策の有効性を評価するための手法を開発する。		
2. 総合評価	<table border="1" style="margin-left: 20px;"><tr><td style="text-align: center; width: 30px;">A</td><td>軽水炉、高速炉に対し時代が要求するより高度な安全性・健全性評価手法を構築することは原子力の信頼性向上の観点から重要と考える。ナトリウムとコンクリート反応挙動、ナトリウム環境下での水素燃焼挙動、バウンダリ構成材料の座屈後の挙動等、いずれも極めて新規性の高いテーマであり、成果の公表も十分にされている。 高速炉の新規制基準の整備も視野において、基礎実験データベースとしてさらなる充実を図ることを期待する。</td></tr></table> <p style="margin-left: 20px;">S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない</p>	A	軽水炉、高速炉に対し時代が要求するより高度な安全性・健全性評価手法を構築することは原子力の信頼性向上の観点から重要と考える。ナトリウムとコンクリート反応挙動、ナトリウム環境下での水素燃焼挙動、バウンダリ構成材料の座屈後の挙動等、いずれも極めて新規性の高いテーマであり、成果の公表も十分にされている。 高速炉の新規制基準の整備も視野において、基礎実験データベースとしてさらなる充実を図ることを期待する。
A	軽水炉、高速炉に対し時代が要求するより高度な安全性・健全性評価手法を構築することは原子力の信頼性向上の観点から重要と考える。ナトリウムとコンクリート反応挙動、ナトリウム環境下での水素燃焼挙動、バウンダリ構成材料の座屈後の挙動等、いずれも極めて新規性の高いテーマであり、成果の公表も十分にされている。 高速炉の新規制基準の整備も視野において、基礎実験データベースとしてさらなる充実を図ることを期待する。		